

研究協力をお願い

昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

腹腔鏡下子宮全摘術に CRP 単独上昇を来す要因の検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2021年7月1日から2023年12月31日までに昭和大学横浜北部病院、産婦人科で良性疾患の診断を受け腹腔鏡下子宮全摘手術を施行された患者さんを対象とします。

ただし、診断時に悪性腫瘍の既往のある方、周術期合併症が発生した方は除きます。

2. 研究目的・方法

腹腔鏡下子宮全摘術は主に子宮筋腫や子宮腺筋症などといった婦人科良性疾患に対して行われる手術です。開腹手術と比較し、創部が小さく、患者さんへの負担が少ないとされています。本研究は、患者さんの診療録を用いて腹腔鏡下子宮全摘術を受けた患者さんの術後の採血検査において、炎症反応を示す項目の一つである CRP が上昇する原因を治療経過から統計的に纏めることで解明し今後の診療に生かしていきます。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2025年 3月 31日まで。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

患者背景(年齢、身長、体重、病歴、病理検査結果、検体検査結果) および臨床検査画像(超音波画像、骨盤 MRI 画像、CT 画像)を調査項目とします。

5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません

6. 研究組織

研究責任者 昭和大学横浜市北部病院産婦人科 小林 弘樹

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学横浜市北部病院 産婦人科 氏名：小林 弘樹

住所：神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1 電話番号：045-949-7000（内 7488）